

TZ ドライブレコーダー TZ-DR220 プロボックス（2025 年 11 月～）参考取付書

本取付書は参考です。取り付けの際は、他の装着品や周りの環境を考慮し、注意事項を遵守の上、取り付けてください。

「純正」及び「その他メーカー」の用品との同時装着可否確認は、原則おこなっておりません。

当該部品を取り付ける際、上記部品用品がある場合は干渉しない位置に取り付けていただけるようお願いいたします。

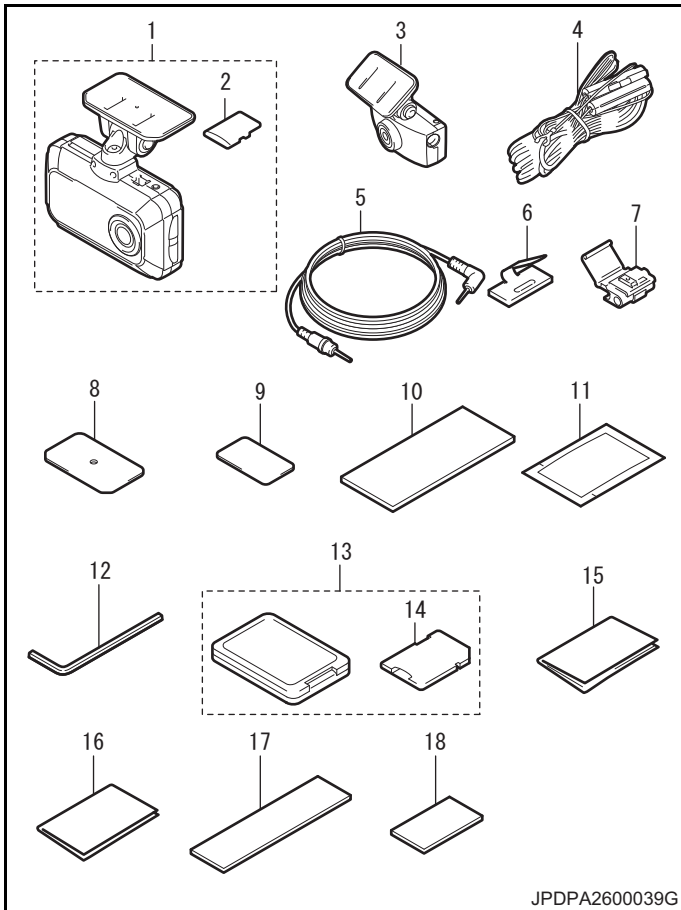
取り付け差異により、装着されたドライブレコーダーが保安基準に適合しなくなる可能性があります。

取り付け後、お手数ですが、作業にて保安基準内で取り付けされているかご確認をお願いします。

また、構成部品以外で取付部材（バンドクランプ、保護シートなど）が必要な場合や、クッションテープなどが不足する場合は、販売会社様にて準備してください。

本取付書は TZ-DR220 専用です。本取付書を当該商品以外に使用した場合の不具合については保証いたしかねます。

● 構成部品（品番：V9TZDR220）



JPDPA2600039G

No.	品名	個数
1	フロントカメラ	1
2	microSDHC カード（32GB）※1	1
3	リヤカメラ	1
4	電源コード	1
5	カメラ通信ケーブル	1
6	コードクランプ	3
7	エレクトロタップ	2
8	フロントカメラ固定用両面テープ	1
9	リヤカメラ固定用両面テープ	1
10	クッションテープ（100 mm×180 mm）	1
11	脱脂クリーナー	1
12	六角レンチ	1
13	ケース	1
14	SD カード変換アダプター ※2	1
15	クイックマニュアル / 保証書	1
16	トラブルシューティングガイド	1
17	ステッカー（150 mm×42 mm）	1
18	ステッカー（61 mm×36 mm）	1

※1：microSDHC カードはフロントカメラに挿入されています。

※2：SD カード変換アダプターはケースに入っています。

● 取り付け上の注意事項

- ・車両ブラケットなどのエッジ部付近で配線作業する際、ケブラ手袋を着用してケガに注意してください。
- ・ルーフヘッドライニングに無理な力を加えてシワや折れ目が入らないようにしてください。
- ・両面テープ貼り付け位置を付属の脱脂クリーナーで清掃後、乾いてから貼り付けてください。
- ・気温が 15℃以下のときは、両面テープの接着力が低下しますので貼り付け面をドライヤーなどで温めてください。
- ・両面テープがしっかり貼り付くまで、押す、引っ張る等の応力を加えないでください。
- ・電源コードおよびカメラ通信ケーブルがバリ・エッジ部と直接干渉しないように、保護シートで保護してください。
- ・エレクトロタップは、線色、位置を確かめてから接続してください。
- ・異音防止のため、電源コードのヒューズ部にはクッションテープを巻き付けてください。
- ・ウォッシャーホースにバンドクランプで固定しないでください。
- ・車両部品復元時は、ケーブルなどのかみ込みに注意してください。
- ・取り付け後に付属のクイックマニュアルを確認して作動確認をしてください。

● 車両部品の取りはずし

車両部品の脱着方法は必ず修理書を参照してください。

● カメラ角度調整

フロントカメラ		注意
		カメラ角度固定ネジを締め付けすぎると、破損するおそれがあります。
		アドバイス カメラ角度固定ネジを緩めすぎると、カメラ角度を調整する際、ノッチ数を確認することができません。

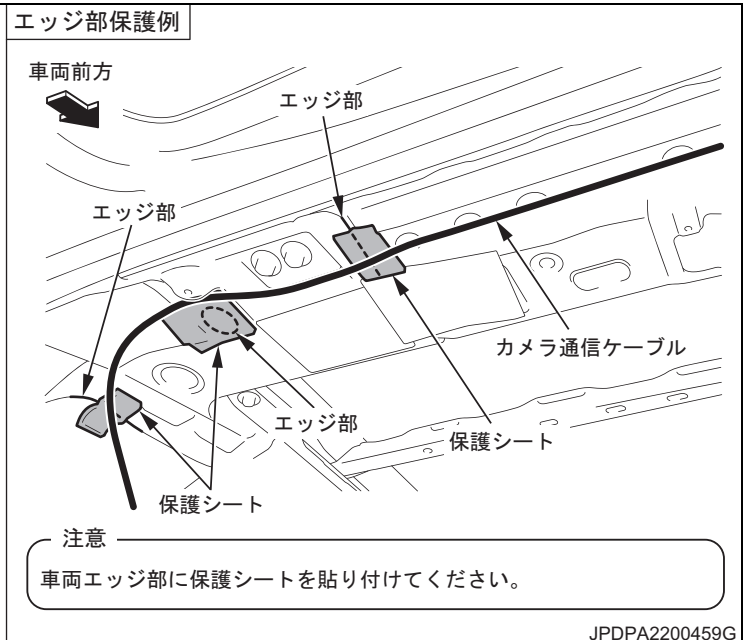
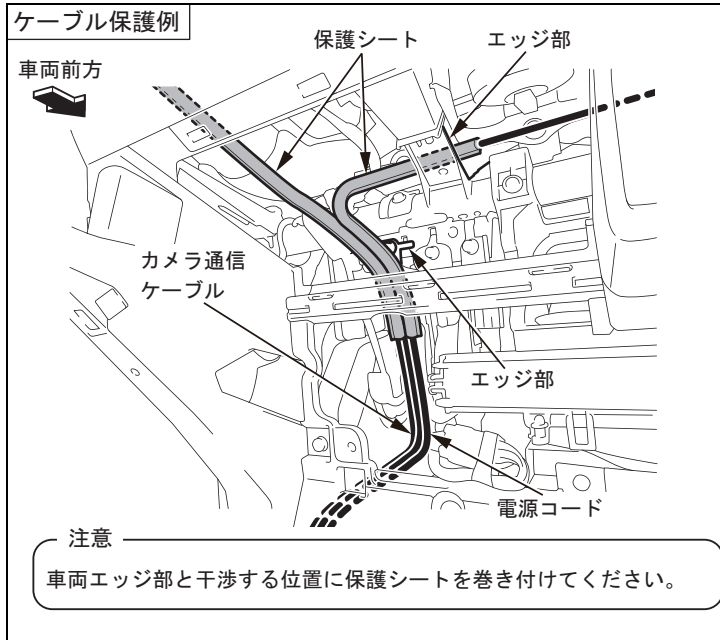
JPDPA2600104G

● カメラ取り付け

フロントカメラ (車室内視)	リヤカメラ
注意 「純正」及び「その他メーカ」の用品との同時装着可否確認は、原則おこなっておりません。当該カメラ貼り付けの際、アンテナモジュール等がある場合は、干渉しない位置に貼り付けていただけるようお願いいたします。 アドバイス 車両装備に関わらず、全車イラストの位置で貼り付けてください。	側面図 リヤカメラステー貼り付け位置 55 mm ハイマウントストップランプ 黒セラライン

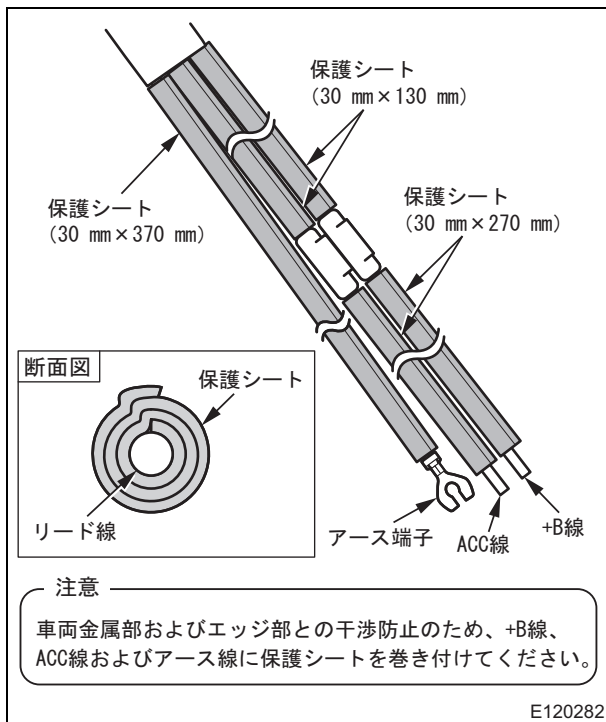
JPDPA2600105G

● エッジ部処理要領



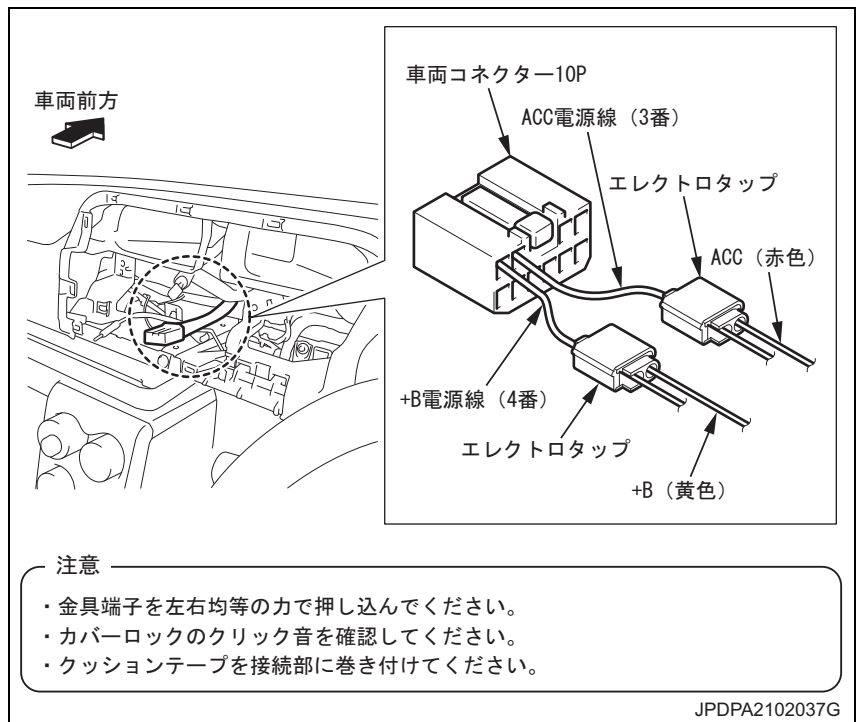
JPDPA2200459G

● リード線保護要領



E120282

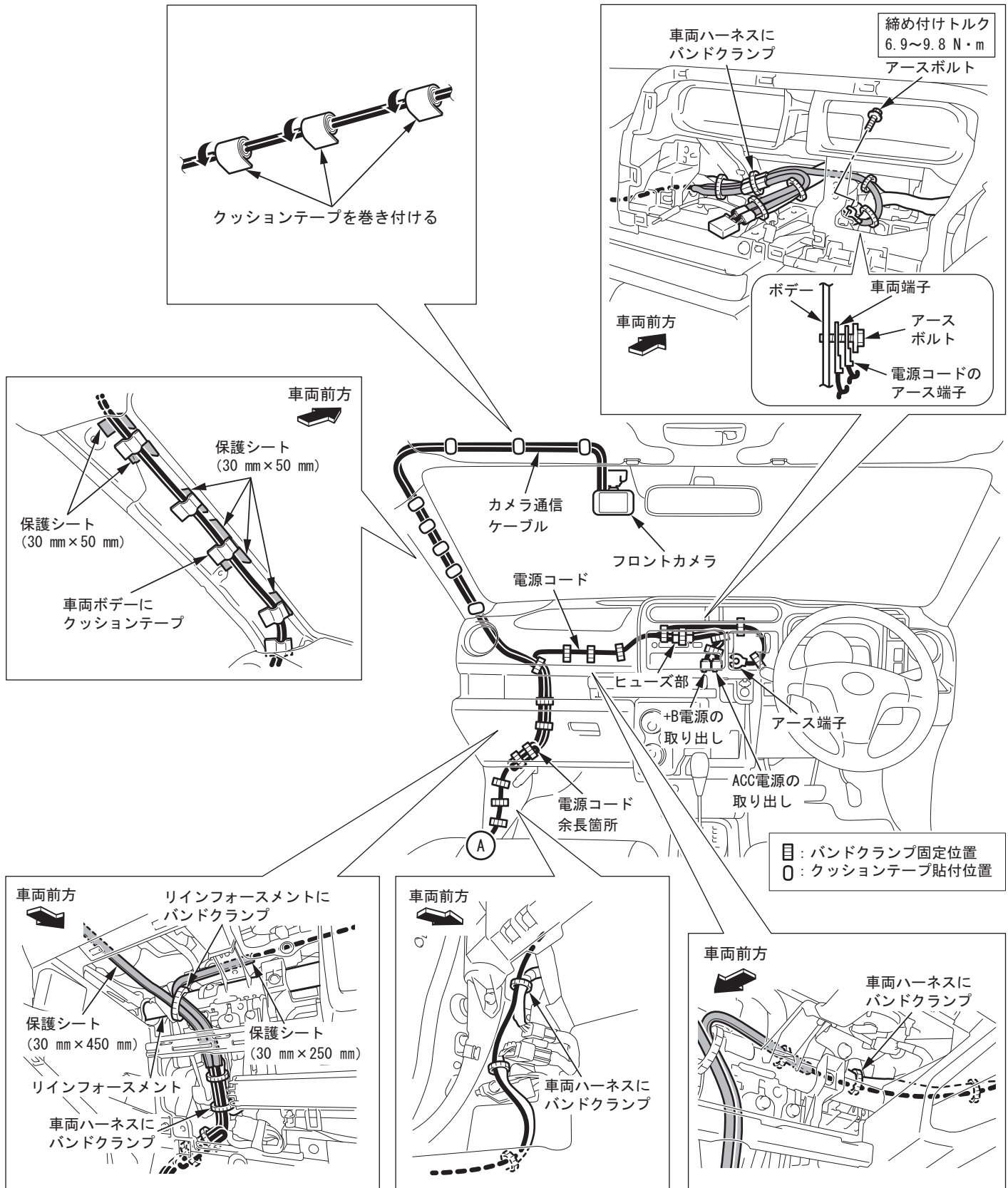
● 電源取得



JPDPA2102037G

● 取付要領

フロントカメラ～インストルメントパネル取り廻し



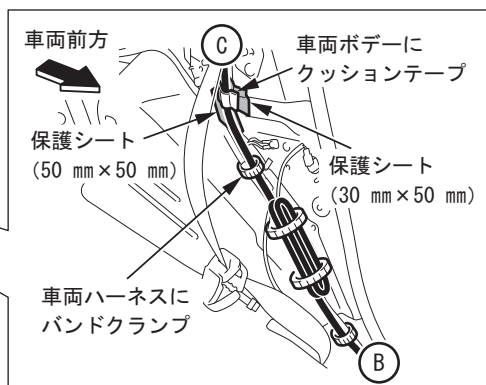
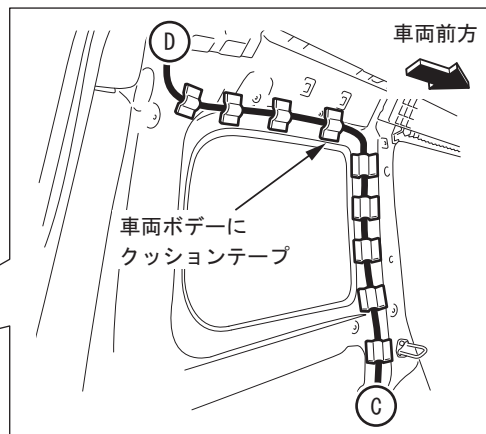
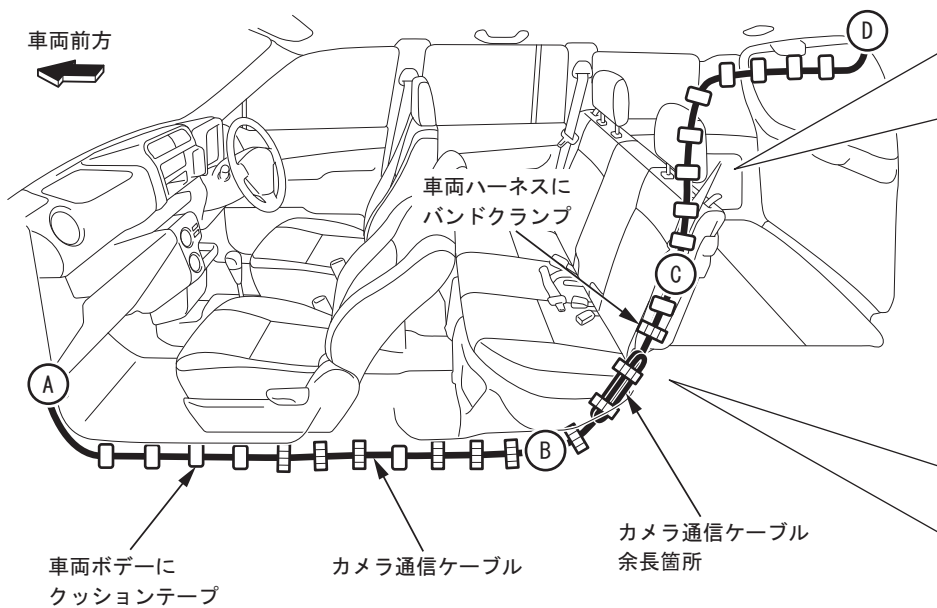
注意

- ・「純正」及び「その他メーカ」の用品との同時装着可否確認は、原則おこなっておりません。
- ・当該部品を取り付ける際、上記部品用品がある場合は干渉しない位置に取り付けていただけるようお願いいたします。
- ・各コードおよびケーブルの余長処理は、エッジ部との干渉に注意して空きスペースで束ねてください。
- ・電源コードをフロントカメラステーのコードガイドに固定する際、電源コードが引っ張られた状態で固定しないでください。
- ・フロントカメラにカメラ通信ケーブルコネクタ（L字）を接続してください。
- ・車両部品を復元する際は、カメラ通信ケーブルをかみ込まないようにしてください。
- ・「アースボルト→電源コードのアース端子→車両端子→ボデー」の順番で取り付けてください。

フロア取り廻し

注意

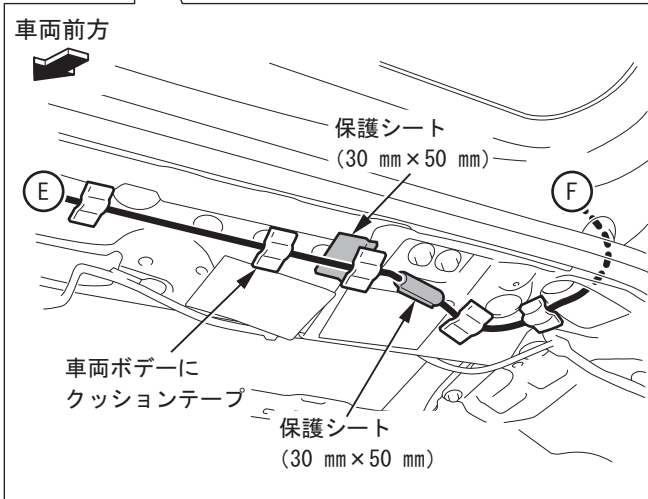
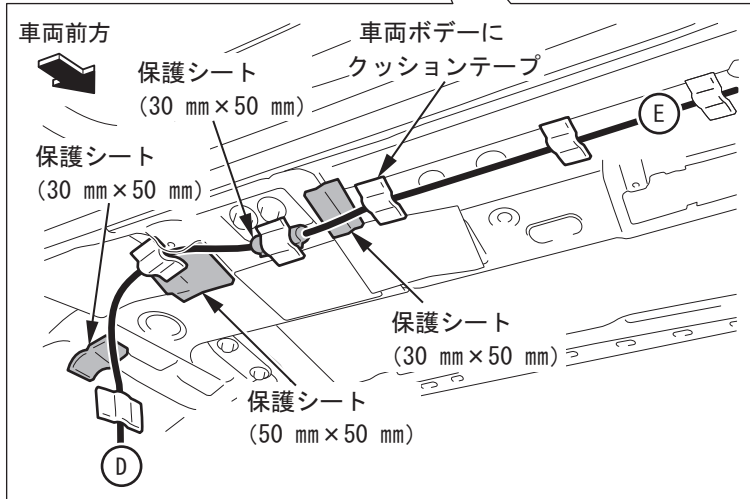
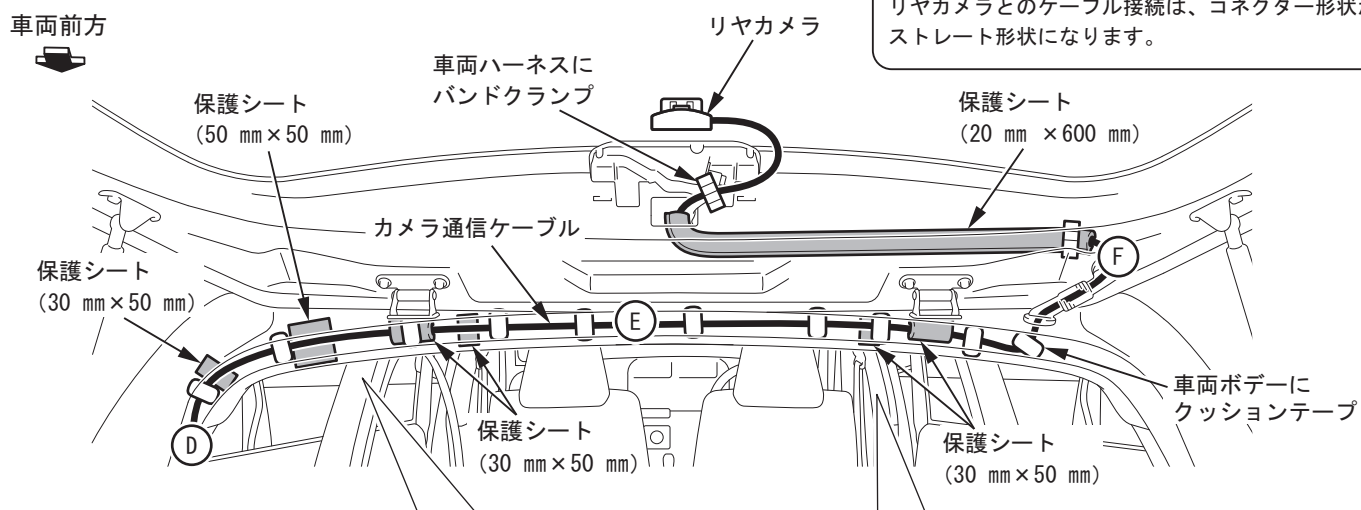
車両部品を復元する際は、カメラ通信ケーブルをかみ込まないようにしてください。



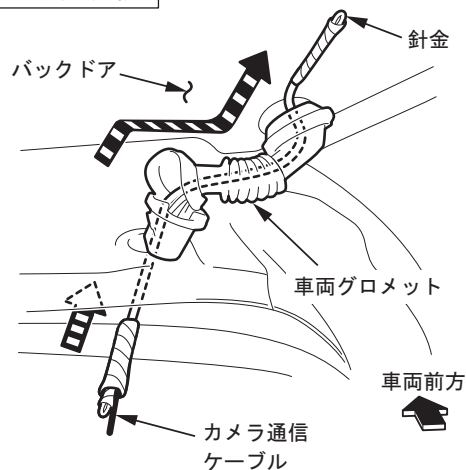
バックドア取り廻し

注意

リヤカメラとのケーブル接続は、コネクター形状がストレート形状になります。



車両グロメット貫通要領



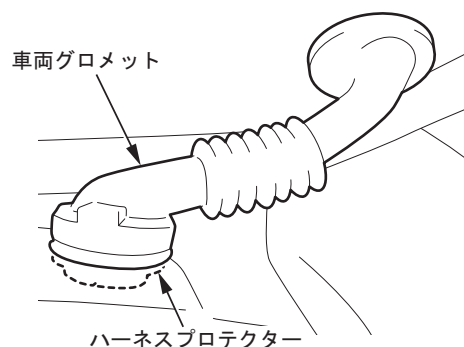
注意

- ・バックドアウェザーストリップをボディパネルから外さないように作業してください。一度外したウェザーストリップは再使用不可となり、水入りするおそれがあります。
- ・車両グロメット破損やケーブル端子変形防止のため、無理な力で引っ張らず、車両グロメット内を少しずつ移動させてください。

アドバイス

石けん水をカメラ通信ケーブルに付けてから車両グロメットに通してください。

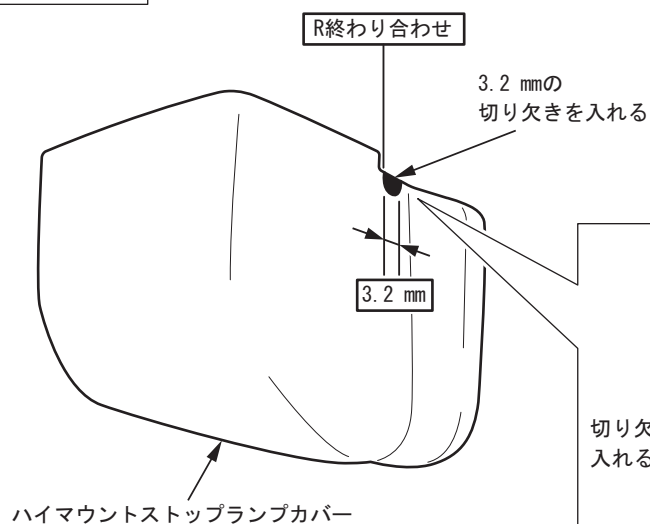
車両グロメット復元要領



注意

- ・ハーネスプロテクターを車両ボデー復元前に、車両グロメットをハーネスプロテクターへ復元してください。
- ・ハーネスプロテクターを車両ボデーに復元する際、カチッという音がし、車両グロメットと車両ボデーの間にすき間がないことを確認してください。
- ・グロメットが溝にしっかりとハマっているか確認してください。
- ・しっかり溝にはまっていないと水入りするおそれがあります。
- ・グロメットを軽く引っ張り（グロメットが外れない程度）グロメットがしっかりと付いていることを確認してください。

車両部品の加工

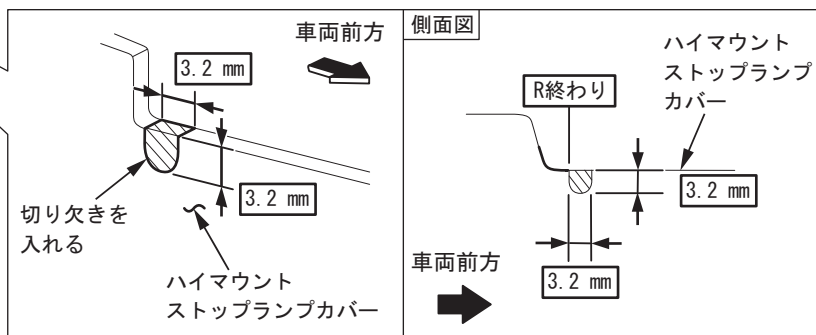


注意

- ・保護めがねやケブラ手袋を着用して切り欠き作業をしてください。
- ・ヤスリでバリを取り除いてください。

アドバイス

車両装備に関わらず、全車イラストの位置で加工してください。



JPDPA2600107G